

農業体験でできる直売所

野菜生産・販売の旦千花（千葉県八街市、大槻暁子社長）は、八街市内に農業体験と組み合わせた農産物直売所を開いた。農場を併設し、3月中旬にも野菜の植え付け体験などを実施する。全国3位の農産物産出額を背景に県内には直売所が多いが、農業体験とセットにして観光振興につなげる試みは珍しい。

千葉の旦千花

13日に開業した「北総大地」の1階の売り場面積は約165平方メートル。有機JAS（日本農林規格）認証や「ちばエコ農産物」などの認定を受けた野菜を中心に、のりや茶、ハムなどの食品を約100種類そろえる。「商品の大半が千葉県産」（大槻洋光会長）という。

当面、八街市周辺の農家約

まず来月、野菜植え付け

30軒が野菜を供給。北総大地は販売手数料を受け取る。初年度の取扱高目標は1億円。直売所近くに敷地面積約2000平方メートルの農場を設ける。露地栽培のジャガイモ、サツマイモや落花生などの植え付け体験を3月中旬にも始める。ビニールハウスなどを設置してナスやトマトなどの収穫体験もできるようにする。農業体験は土日祝日と一部は平日も実施する予定。料金などは今後詰める。（千葉）